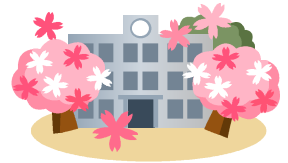




# 校長室だより 一步一步

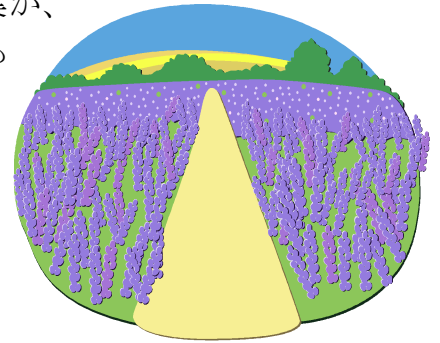


入学式・始業式が終わり、一学期が始まって一週間。子ども達は、ご家庭で学校のことをどのようにお話ししているでしょうか。学校では、5, 6年生が入学式の準備やあとかたづけなど一所懸命やってくれました。始業式では、みんなやる気いっぱいの表情で新学期を迎えていました。毎日元気に学校生活を送っています。頼もしいです。

## 校長室だより 一步一步 の意味

校長だよりのタイトルは「一步一步」です。なぜこの言葉か、昨年度も書きましたが今一度ここに紹介します。「千里の道も一歩から」ということわざがあります。また、徳川家康の有名な言葉に、「人の一生は、重荷を負うて遠き道をゆくがごとし 急ぐべからず」というものがあります。

人生は長いものです。その人生をしっかりと歩む力を付けていくことが大切ですが、その力は簡単に付くものではありません。しかし、長い道のりも一步一步踏みしめて行けば目的地に到達するがごとく、一步一步踏みしめて行けば必ず力が付いていきます。一步一步をしっかりと歩んで力を付けていってほしいという願いを込めました。



## 始業式・入学式のお話し

始業式や入学式の式辞の中で次のような話をしました。

始業式では、まず「公」と「私」の話です。世の中には「公」と「私」の区別があります。「公」の場では、みんなが関係するところなので、「私」のような自由や好き勝手にできません。ルールやマナーがあります。学校はそのような「公」



のルールやマナーなどの社会性を学ぶところです。だから、みんなと協力することの大切さや自分を押しさえて「がまん」しなくてはならないことがあることなどを話しました。また、新学期を迎えてまず頑張ってもらいたいことは「あいさつ」です。会社を経営されている方や会社の役員、大きな病院の部長さん、警察学校の校長さんなどいろいろな方々と話をすると、全員「あいさつがしっかりできない人はダメ」といいます。そして、伸びる大きな要因の一つは「素直」であると言います。みんなも「あいさつ」がしっかりできる人になって、「素直」に学んで自分をよりよくしていってほしいと話をしました。

入学式では、がんばったあとの「笑顔」です。勉強や運動、友達との関係など、学校ではいろいろなことがあります。そのいろいろなことにがんばって取り組んで、「できた!」「うまかった!」「ありがとう!」「仲直りした!」となって笑顔になれるようがんばってほしいと話しました。笑顔いっぱいの白峰小学校にしていきたいと思います!

今年度もよろしくお願いたします。